

福岡県同和問題啓発強調月間の取り組み

(1) 啓発動画

平成30年からの取り組みとして、7月の「福岡県同和問題啓発強調月間」に合わせて啓発動画を作成し、桂川町のホームページやケーブルテレビにて掲載しました。

※以下の写真や文章は、啓発動画の一部を抜粋したものです。

7月は、福岡県同和問題啓発強調月間です。7月7日、住民センターで人権講演会を開催します。講師は、西日本新聞社論説委員の前田隆夫さんです。テーマは「同和問題」です。演題は「差別」の現実深く学ぶ～耳を澄まそう目を凝らそう～です。

みなさん、ご存知ですか？平成28年に人権に関する3つの法律ができたことを！

1 障害者差別解消法

2 ヘイトスピーチ解消法

3 部落差別解消推進法

現在、インターネット上での誹謗・中傷や部落差別に関して差別を助長するような投稿など人権にかかわる様々な問題が発生しています。インターネットを悪用することなく、お互いに人権を尊重した行動をとるようにしましょう！

人権・同和問題は一人ひとりの問題です。
差別のない桂川町を実現しましょう！



(2) 街頭啓発・登り旗・看板の設置

桂川町役場をはじめ、公共施設に来庁・来館された方に声をかけ、市民講座「人権講演会」の案内チラシやリーフレット、うちわ等を配布しました。また、図書館前には登り旗、その他町内5か所には案内看板やチラシ等を設置しました。



配布物



図書館前



マイクロバス

(3) 人権啓発パネル展 テーマは「SDGs 持続可能な開発目標と人権」

※以下はパネル展の一部タイトルの紹介です。

- キーワード
「SDGs が生まれた背景や理念など、SDGs を理解するためのキーワードを解説」
- そもそも人権ってなに？「テーマの前提として、人権について改めて考えます」
- SDGs 「SDGs の基本的な事柄と人権との関わりを理解します」
- 私たちの生活と SDGs
「17 目標の 4 つの課題について人権の視点で捉え直します」
- 私が考え SDGs アジェンダ「4 つの課題について、識者の論考から考えます」



役場ロビー：7月1日～5日
7月17日～22日



住民センター：7月7日
町立図書館：7月9日～16日

SDGs の 17 の目標とは？

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



① 貧困をなくそう ② 飢餓をゼロに ③ すべての人に健康と福祉を ④ 質の高い教育をみんなに ⑤ ジェンダー平等を実現しよう ⑥ 安全なトイレを世界中に ⑦ エネルギーをみんなにそしてクリーンに ⑧ 働きがいも経済成長 ⑨ 産業と技術革新の基盤を作ろう ⑩ 人や国の不平等をなくそう ⑪ 住み続けられるまちづくりを ⑫ つくる責任つかう責任 ⑬ 気候変動に具体的な対策を ⑭ 海の豊かさを守ろう ⑮ 陸の豊かさも守ろう ⑯ 平和と公平をすべての人に ⑰ パートナースHIPで目標を達成しよう

(出典：外務省)

けいせんまちし じんけんこうえんかい
(4) 桂川町市民講座「人権講演会」



どうわもんだい
テーマ：同和問題

えんだい さべつ げんじつ ふか まな
◆演題：「差別」の現実に深く学ぶ

みみ す め こ
～耳を澄まそう目を凝らそう～

こうし にしにっぽんしんぶんろんせつ いん まえ だたか お がつなのか にちようび
◆講師：西日本新聞論説委員 前田隆夫さん 7月7日（日曜日）

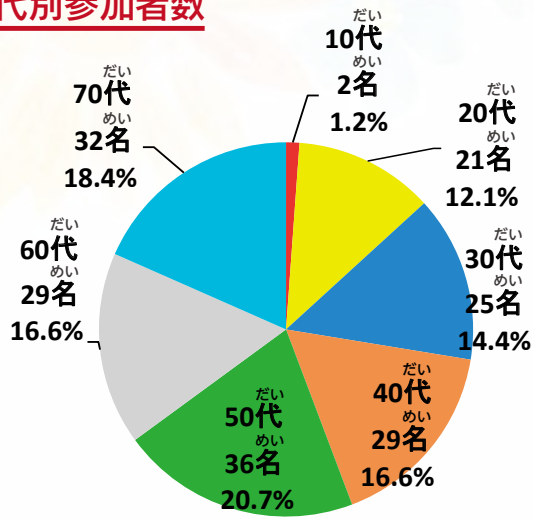
ほんねん ど し じんけんこうえんかい がつ なのか じんけんこうえんかい にしにっぽんしん
本年度の市民講座は、7月7日住民センターにおいて西日本新聞
ぶんろんせつ いん まえ だたか お まな さべつ げんじつ ふか まな
論説委員の前田隆夫さんをお招きし『差別』の現実に深く学ぶ
みみ す め こ えんだい かいさい
～耳を澄まそう目を凝らそう～という演題で開催しました。208
めい かた さん か だいいじょう さんかしゃ さくねん
名の方に参加していただきました。70代以上の参加者は昨年より
すこ げんしょう だい だい かた さくねん おな
少し減少しましたが、10代から60代までの方は昨年と同じくら
いの方が参加していました。どうわもんだい しんぶん きしゃ めせん かた
いの方が参加していました。同和問題を新聞記者の目線から語ら
れるということで、ちょうがい と あ かんしん おお
れるということで、町外からの問い合わせもあり、関心が多くあつ
たことが伺えます。わか せだい どうわもんだい りかい
たことが伺えます。若い世代には同和問題を理解するきっかけに
なり、けいけんほうふ せだい まな なお こうえん
なり、経験豊富な世代にとっては、学び直すことのできた講演と
なりました。

あらゆるじんけんもんだい じぶん かんが たいせつ
あらゆる人権問題において、自分ごととして考えることが大切
です。ただ まな き こん こん じんけん どうわ
です。正しく学び、気づくことができるよう、今後の人権・同和
もんだい きょういく けいはつ む と く すいしん つな ひつよう
問題の教育・啓発に向け、取り組みの推進に繋げていく必要があ
ると考えます。かんが

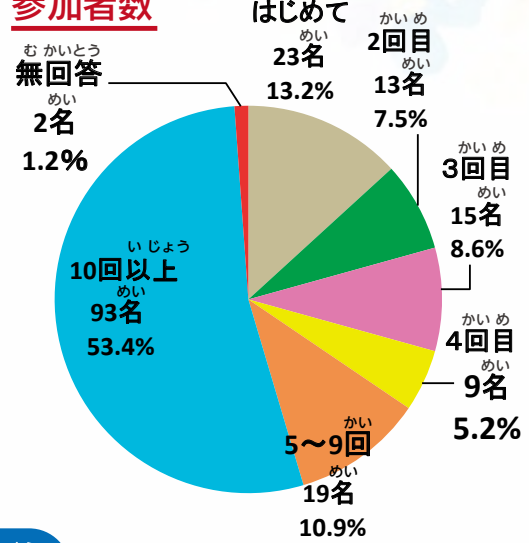
じんけんこうえんかい けっか
「人権講演会」アンケート結果

さんかしゃすう めい ていしゅつしゃ めい
参加者数208名 アンケート提出者174名

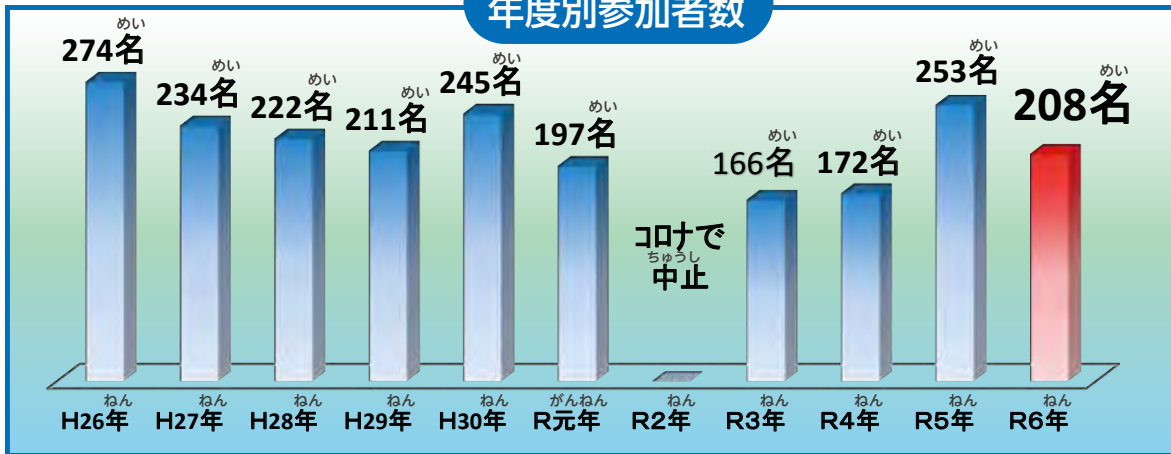
ねんだいべつさんかしゃすう
年代別参加者数



さんかしゃすう
参加者数



ねんどべつさんかしゃすう
年度別参加者数



じんけんこうえんかいさんかしゃ かんそう
～人権講演会参加者の感想～

げんぶん けいさい
原文のまま掲載

- 実体験も交え、分かりやすい説明でした。人権・同和問題を他人事として捉えるのではなく身近な問題として関心を持つことの大切さを改めて学びました。(30代)
- 自分が「理解している」状態ではないと感じ、理解したいと思った。このような分かりやすいお話をしていただける方から、子どもたち(大人も)がお話を聞くことが何度もできれば良いと思いました(50代)
- 地域の実情にあった施策を行うことが大事。これを生かさなければならぬことが大事。取り組みをつなげていくことが大事。実践していくことが大事。(60代)